

# 令和6年度支部保険者機能強化予算(案)について

令和6年1月12日

令和5年度第3回熊本支部評議会

資料4

(単位：千円)

支部保険者機能強化予算

分野	科目	増減	令和6年度予算額 (案)	令和5年度予算額
1. 保健事業予算	(1) 健診経費	13,980	42,424	28,444
	(2) 保健指導経費	▲1,313	10,670	11,983
	(3) 重症化予防事業経費	▲10,100	0	10,100
	(4) コラボヘルス事業経費	▲2,611	8,011	10,622
	(5) その他保健事業経費	44	325	281
	合計	±0	61,430	61,430
	(6) 【特別枠】 その他の重症化予防対策経費	1,408	6,677	5,269
2. 医療費適正化等 予算	(1) 医療費適正化対策経費	965	7,428	6,463
	(2) 広報・意見発信経費	▲966	6,590	7,556
	合計	▲1	14,018	14,019

# 1. 保健事業予算一(1) 健診経費

R6年度 K P I	生活習慣病予防健診実施率：68.2%以上 事業者健診データ取得率：10.7%以上 被扶養者の特定健診実施率：29.5%以上
---------------	---

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
保健事業予算	★ 健診経費	① 事業者健診結果の提供勧奨及びデータ化他	事業者健診結果の提供勧奨と、取得した紙の事業者健診結果をデータ化	3,270	14,455	11,185	保健G
		② 被保険者を対象とした協会けんぽ主催集団健診	12月～3月に30日程度開催。土日祝を中心に設定し、被保険者個人へ案内	2,970	3,926	956	
		③ 被扶養者を対象とした協会けんぽ主催集団健診	年度内160日程度開催。無料オプション健診を付加した集団健診	4,539	13,709	9,170	
		④ 特定健診とがん検診の同時受診勧奨	年度内12日程度開催。市町村のがん検診と協会の特定健診が同時受診できる集団健診	1,305	1,855	550	
		⑤ 健診受診者数目標達成にかかる健診機関へのインセンティブ	健診機関毎に設定した健診受診者数目標を達成した場合のインセンティブ	▲60	2,844	2,904	
		⑥ 次年度に向けた被扶養者を対象とした協会主催集団健診の受診勧奨	③の集団健診のR7年度案内をR6年度末に実施。受診券と同時期にお届けする	新規	2,046	－	
		⑦ 市町村と連携した特定健診とがん検診の受診勧奨	市町村が実施するがん集団検診において、協会の特定健診も受診可能であることを案内	新規	1,659	－	
		⑧ 新年度健診案内に同封するリーフレット等作成	翌年度分案内における支部独自印刷物を今年度予算で作成	▲1,749	1,930	3,679	

## 令和6年度予算(案)のポイント

★健診は、受診したご本人が自らの「健康の現在地」を知り、健康意識の向上に寄与するだけでなく、その後の様々な「健康づくり」の入り口となる重要なファクターです。令和6年度は当該予算枠を拡大し、被保険者・被扶養者向け健診の受診率アップを目指します。

# 1. 保健事業予算一(2)保健指導経費

R6年度 K P I	被保険者の特定保健指導実施率：39.5%以上 被扶養者の特定保健指導実施率：26.0%以上
---------------	--

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
保健事業 予算	保健 指導 経費	① 特定保健指導実施者数目標達成にかかる実施機関へのインセンティブ	実施機関毎に設定した特保実施者数目標を達成した場合のインセンティブ	▲1,048	2,997	4,045	保健 G
		② 特定保健指導実施機関における特定保健指導の中間評価のための血液検査	特定保健指導中の中間評価時に、血液検査等を実施することで途中脱落を防ぐ	▲330	7,260	7,590	
		③ 保健指導雑費	パンフレットや事務用品の購入、実施場所の賃借等	65	413	348	
		④ 情報通信技術（ICT）を活用した遠隔面談	ICTによる初回面談	—	本部予算	本部予算	
		⑤ 協会保健師等による実施が困難な地域における特定保健指導専門機関への委託	天草地域における特保を委託	—	本部予算	本部予算	

## 令和6年度予算（案）のポイント

（補足）熊本支部の特定保健指導の実施率は、令和4年度全国で第1位の成績をあげました。一方で、保健指導を実施した方の翌年の「改善率」は全国で46位と低調です。そのため、令和6年度は保健指導の質の向上に取り組めます。

# 1. 保健事業予算 — (3)重症化予防経費、(5)その他、(6)特別枠

R6年度 K P I	健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合：対前年度以上
---------------	------------------------------------

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
保健事業予算	重症化予防経費	① 健診機関に委託して行う「 <del>受診勧奨</del> 」	健診の結果、血圧および血糖値が基準値を健診を実施した健診機関から受診勧奨を行う	-	-	10,100	保健G
		① 【特別枠】※ 腎機能低下の要因となるCKD等に 対する受診勧奨	★ CKD（慢性腎臓病）のハイリスク者に対し、 ダイレクトメールや電話等により専門医への受診を 促す	1,408	6,677	5,269	
	その他	① 生活“歯援”プログラムの実施	熊本県歯科医師会と連携した口腔ケアプログラム	44	220	176	
		② 保健事業計画アドバイザー経費	支部データヘルス計画の策定・推進にあたり、 有識者へ諮問を行う	±0	105	105	

※「特別枠予算」：取り組みに意欲的な支部に対して通常の予算に追加して予算措置される。本部への申請、審査を経て認定可否が決定される。

## 令和6年度予算（案）のポイント

★：CKDハイリスク者の対象を、従来の「未治療者」に加え、「血圧・血糖・脂質にかかる服薬あり」の者（服薬中であるが腎機能の低下が見られる者）にも拡充して受診勧奨を実施するため、6年度予算を拡充しました。

# 1. 保健事業予算 — (4) コラボヘルス事業経費

R6年度 K P I	健康宣言事業所数：2,930事業所以上
---------------	---------------------

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
保健事業予算	★ コラボヘルス事業経費	① 事業所カルテによる健康宣言の勧奨とアフターフォロー	健康宣言事業所への事業所カルテ定期お届け、と、未宣言事業所への宣言勧奨	▲2,402	2,096	4,498	企画総務G
		② 健康経営の質の向上を目的とした集合セミナー	年度2回開催。「健康経営優良法人申請対策」と「健康経営事例発表」	▲1,232	893	2,125	
		③ 講師派遣型健康づくりセミナー	健康宣言事業所を対象に、セミナー講師を派遣する（講師は外部委託）	1,854	4,164	2,310	
		④ 事業所カルテに基づいた健康宣言“再宣言”の電話勧奨	従来健康宣言をしていた事業所でリニューアル“再宣言”が無い事業所へ電話で勧奨	新規	858	-	
		⑤ <del>ヘルスター認定2024</del> <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">2年に1度実施</span>	健康宣言事業所の“健康度”を1つ星から3つ星で認定する（2年に1度実施）	-	-	1,689	

## 令和6年度予算（案）のポイント


★令和5年度に健康宣言事業所が大幅に増加（R4:1,986社→R5.11月:2,901社）しており、事業所カルテによる訴求効果であると評価しています。令和6年度は、宣言数の拡大から、健康経営の質の向上に軸足を移します。①事業所カルテの提供継続によるアフターフォローを実施するとともに、②健康経営に関する年2回の協会けんぽ主催の集合セミナーと、③年間を通じた事業所のニーズに応じての講師派遣型セミナーにより、健康宣言事業所の健康経営を支援します。

## 2. 医療費適正化等予算 — (1) 広報・意見発信経費

R6年度  
K P I

全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合：64.7%以上

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
医療費適正化等予算	広報・意見発信経費	① 健康宣言勧奨と連動した健康保険委員登録勧奨	健康宣言の担当者を健康保険委員として登録するよう案内	—	無予算で実施	無予算で実施	企画総務G
		② 新規適用事業所への健康保険委員登録勧奨	初めて社会保険適用となった事業所へ“鉄が熱いうちに”健康保険委員登録を案内	—	無予算で実施	無予算で実施	
		③  メディアを活用した健康経営等の周知・啓発	健康経営や健康づくりを、県民・事業主等へ広報（地元紙、地元経済誌を想定）	▲611	4,664	5,275	
		④ 支部の定期刊行物等の作成	定期的に全事業所に送付するチラシやリーフレット等の作成	▲355	1,926	2,281	

### 令和6年度予算（案）のポイント

★令和6年度は地元メディアの活用を強化します。今回策定の予算以外に、本部主導による特別広報予算を組み、「健康づくりサイクルの定着（※）」、「マイナンバーと健康保険証の一体化」、「保険料率改定」をテーマとした広報を実施します。

※「健康づくりサイクル」・・・「①日々の健康づくり」「②毎年の健診受診」「③健診結果に応じて、問題が無ければ健康づくりを継続、生活習慣の改善が必要であれば特定保健指導を利用する、医療機関への受診が必要であれば早急に受診する」等のサイクル。

## 2. 医療費適正化等予算 — (2) 医療費適正化対策経費

R6年度 K P I	ジェネリック医薬品使用割合：対前年度以上
---------------	----------------------

(単位：千円)

大分類	中分類	R6年度取組名	取組概要	増減	R6年度 予算額 (案)	R5年度 予算額	担当
医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	① 薬局向けジェネリック使用促進ツールの展開 <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">事業終了</div>	調剤薬局に対して、自薬局のジェネリック使用割合等を文書でお知らせ	-	-	660	企画総務G
		★ ② 加入者宛てダイレクトメールによる上手な医療のかかり方の勧奨	レセプト分析により多剤重複服薬者等を選定し、対象者自宅宛てDMにて、医療のかかり方の改善すべき点をお知らせ。 ジェネリック医薬品の普及啓発も盛り込む	1,625	7,428	5,803	

令和6年度予算（案）のポイント	
①ジェネリック医薬品の使用促進については、目標としていた水準を超えていることから事業終了（国目標80%に対してR5.7月:84.6%）。	
★②令和4年度から本格実施しており、医療費適正化に直接的な効果を持つことが期待できる。当該ダイレクトメールの中に、ジェネリック医薬品の広報要素も盛り込むよう検討しています。	